

第七十四回
帝國議會
貴族院

保險業法改正法律案特別委員會議事速記第五號

昭和十四年三月十七日(金曜日)午後一時
三十八分開會

○委員長(伯爵樺山愛輔君) ソレデハ是カ

ラ會議ヲ開キマス、質疑ハ別ニゴザイマセ
ヌカ

○子爵梅小路知行君 質疑ハ濟シダノデス

カ

○委員長(伯爵樺山愛輔君) イイエマダデ

ス

○子爵梅小路知行君 ソレデハチヨット同

ヒタイタイノデスガ、此ノ法律案ニ付キマ

シテ直接ノ疑義ニ對シテハ過日來色々質問

ナサツタ方モアリ、政府ノ御答ニ依ッテ略ボ

了解致シマシタカラ、ソレハ御尋ネスルノ

デヤアリマセヌガ、此ノ法律案、法文ニ依ッ

テ監督ハ十分御出來ニナルコトガ出來マス

ガ、私ノ伺ヒタイコトハ、實際問題トシテ

取締上ニ付テチヨット伺ヒタイノデスガ、保

險會社ノコトニ付テハ私ハ一向精シクナイ

ノデアリマスルガ、聞ク限りニ於キマシテ

ハ、何レモ保險會社ハ外交員、即チ保險ヲ

勧誘スル保險員、勧誘員トデモ申シマスル

カ、サウ云フ者ヲ使ッテ居ルヤウデアリマス

ルガ、其ノ外交員、勧誘員ナル者ノ働振り、

其ノ良否ガ會社ノ仕事ノ生命ニナルヤウニ
考ヘラレルノデアリマス、私ハ保險會社ニ

ハ關係アリマセヌガ、或貯蓄銀行ニ關係シ

テ居リマスルガ、最モ矢張り外交員ヲ使ッテ

居リマス、勧誘員ト稱ヘテ居リマス、一面

ニハ集金人トモ稱ヘテ居リマス、是ハ規則

的ニ集金人ニハ集金費トシテ集金額ノ二分

ヲ以テ支拂フスルト云フコトニ規定サレテ

居ルノデ、集金額ノ二分ダケヲ外交員ヲ用

ヒル費用トシテ居ルノデアリマスルガ、此

ノ保險會社ニ於キマシテ色々彼方此方デ承

リマスルト、保險ノ爭奪トカ何トカ云フコ

トハ總テ外交員ガヤツテ居ルコトデ、外交員

ノ口先一ツデ、寧ロ會社ノ内容ノ良否ヨリ

モ、外交員ノ口先ニ乘ル方ガ多イヤウニ聞

イテ居ルノデス、貯蓄銀行アタリニ取ッテ見

マスレバ貯金者、保險會社ニ取ッテ見マスレ

バ契約者、是等ハ割合ニ幼稚ナモノデ、外

交員ノロドドウデモナル、ナカク實際

會社ノ内部ノ狀況ヲ檢討シテ、サウシテ契

約スル、サウシテ貯金スルト云フヤウナ人

ハ寧ロ少イヤウデス、ソレデ今申ス通り此

ノ外交員ノ良否、働振りガ會社ノ生命ト迄

サレテ居ルノデアリマスルカラ、從ッテ會社

其ノモノハ、此ノ外交員ヲ遇スル上ニ付テ

色々ノ策ヲ講ズル、策ヲ講ズルト申シテハ

惡イカモ知レマセヌガ、色々ト手ヲ變ヘ、

品ヲ變ヘシテ心配ヲシテ居ルノデアリマス、

規定外ノ金ヲ色々ノ名義ニ於テ用ヒルコト

ガアリハセナイカト云フコトヲマア私共ハ

心配スルノデス、ソレデ私ノ伺ヒタイノハ、

ソレ以前ニチヨット申上ゲテ置クノハ、外交

員デモ固定給ヲヤツテ居ル所ト、全然歩合制

度ト二通りアルヤウデアリマス、今ドウナッ

テ居リマスルカ、私ノ承ツタ時分ニハ、固定

給ハ全然ヤラナイ、一萬圓取ッテ來レバ百圓

ヤルトカ、二萬圓取ッテ來レバ二百圓ヤルト

カ云フコトデ、歩合制度ニシテ居ル所モ

アリ、又幾ラカノ固定俸給ヲヤツテ居ル所

モアルサウデアリマス、ソレヲ手當ダト

カ、賞與金ダトカ云フヤウナ名目デ澤山外

交員ニヤル、外交員ヲ喜バス、獎勵スル、

獎勵金ト稱ヘテ居ルヤウナ所モアルラ

シイノデス、此ノ使ヒ方ニ依ッテ細カイ

會社ナンカハ非常ナ不利ヲ招ク、大キナ會

社ハ兎ニ角大キクナルニ從ッテ融通ガ利キ

マスルカラ、外交員ニ對シテナカク良イ

サレナクトモ、其處ニ不純ナコトガ出來テ

來テ、小會社ヲ殊更ニ壓迫スルノデアアル

マイカ、壓迫スルヤウナコトニ立至ッテ、小會

社ハ致々トシテ働キ、眞摯ニ働イテ居ッテ

モ、到底事業ガ成立タナイ、惡イ事ヲシテ

居ルノデヤナイガ、事業ガ成立タナイト云

フヤウナコトニナツテ、ナカク法律一片ノ

獎勵デハムヅカシイ場合ガアルカノヤウニ

思ハレル、ソコデ私ノ伺ヒタイノハ、此ノ

保險會社ニ付テハ、規定トカ何トカデ、外

交員ニハ是以上ノモノハ外交費トシテ用ヒ

テハイカナイト云フヤウナ規定デモアルノ

デアリマスルカ、又サウ云フコトニ何等カ

ノ御取締ガアルノデアリマスルカ、其ノ邊

ヲチヨット伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(牧橋雄君) 御答ヘ申上ゲマス、

保險ノ外務員ハ色々待遇ガゴザイマシテ、

或ハ固定給デアルトカ、或ハ出來拂高デアリ

マストカ、多クハ是等ノ制度ヲ併用シテ居

ルモノガ多イノデアリマス、今御説ノ通り

ニ此ノ外務員ガ謂ハバ保險知識ニ乏シイ人

ヲ相手ニシマシテ非常ナ激シイ競争ヲシテ、

サウシテ契約ノ増加ニ努メル、是等ノ競争

激シクナリマス、非常ナ弊害ガアリマシテ、御説ノ通りニ感ジテ居ル次第デゴザイマス、御意見ニモゴザイマシタ通りニ、此ノ待遇ノ如何ガ又サウ云フ競走ヲ激シクサセルヤウナ點、ソレカラ生ズル弊害ト云フヤウナモノガ一番監督上大切ナ點デアルト考ヘテ居リマス、實ハ保險契約ニ關スル色々ナ弊害ナリ、非難ト云フモノハ皆是カラ起ッテ居ルノデゴザイマス、從ッテ今仰セニナツタヤウナ點ニ關シマシテ、適當ナル對策ヲ講ズルト云フコトガ急務ト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、ソレデ先般申上ゲマシタ通りニ此ノ待遇ヲ良クシテ、サウシテ獎勵金ヲヤツテ監督ニ努メルト云フコトハ一面宜イニハ違ヒアリマセスガ、ソレ等ノ弊害ガアル、多數ノ契約者ニ迷惑ヲ及スト云フ點カラ考ヘレバ適當ニ取締ラナケレバナラス、ソレニ對シマシテハ現在商工省令デ保險募集取締規則ト云フモノガゴザイマシテ、色々ノ經驗カラ見マシテ、尙一層此ノ厲行ニ努メレバ相當效果ハアルヤウニ考ヘラレマスガ、併シ御承知ノ通りニ十八萬何千人ト云フヤウナ多數ノ外務員デゴザイマシテ、ソレ等ノ者ガ各方面デ御誘ヒニ努メテ居ル、其ノ現狀ヲ押ヘテ監督スルト云フコトハナカク困難デゴザイマス、是等

ノモノハ矢張り同業者相戒メテ行クコトガ宜シカラウト考ヘマス、從ッテ監督當局トシマシテモ監督ヲ適當ニヤツテ、サウシテ是等ノ弊害ヲ除去スルト云フコトニ努メル、一方ニ於キマシテハ同業者自肅シテサウシテ相戒メ、現場デ相戒メ合ッテ行クト云フコトニシタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレデ先般申上ゲマシタガ、統制協定ニ於キマシテハ、只今御話ノヤウナ外務員ノ給與ニ對シマシテ餘リ不當ナル待遇ヲスルヤウナコト、從ッテ其ノ待遇ヲ目當ニ弊害ガアツテモナクテモ募集スルト云フヤウナコトヲ避ケシムルト云フコトガ一番大切デハナカラウカト思ッテ居リマス、今回ノ法律改正ニ統制規定ガ設ケラレテ居ルノハ、主トシテサウ云フ點ヲ狙ッテ居ル譯デアリマシテ、實ハ御尋ノ通りノヤウナ次第デゴザイマスガ、是ハ嚴重ニ取締ニ努メタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○子爵梅小路定行君 ソコデ私ノ伺ヒタイノハ外交員ニ對スル會社ノ待遇デスナ、詰リ物質ヲヤルト云フコトニナルノデスガ、ソレノ制限ニ付テハ何等カ御考ガアリマセウカ、今私ノ申シタ通り、貯蓄銀行アタリデハ集金費ハ二分以上使ッテハナラス、二分以上使ッテ會社ノ採算ガ取レルヤウナ方法

デヤツテ居ル、ソレデモ實ハマダ餘リ宜クナイト知リツ、餘計ナルヤウナコトモ實際上ハアル、ソレハ一ツニハ彼方此方ノ銀行業者ノ競争上カラマア已ムヲ得ナイ場合モアリ、大藏省モ大目ニ見テ居ルヤウナ場合モソレハアツクデアラウト思ヒマスガ、サウ云フ何カ制限ガアルノデスカ、歩合トスレバ幾ラヤツタ宜イカ、例ヘバ一萬圓ノ契約ヲシテ來タラ百圓ヤル、二萬圓ノ時ニハソレニ幾ラカ減減シテ百五十圓ヤルトカト云フヤウナコト迄許サレテ居ルノデスカ、ドウ云フモノデセウカ、私ノ知ル外交員ガ先年遊ビニ來テ色々話ヲシタノデアリマスガ、少シ大キナ契約ヲスルト三箇月トカ半箇年トカ遊ンデ暮ラセルト云フ話ヲ聞キマシタガ、遊ンデ暮ラセルトハ大變結構ナモノダト思ッテ居ッタノデアリマスガ、ソコニ何等カ不安ナ點ガアリハシナイカ、又サウ云フヤウナヤリ方ヲ大キナ會社ガヤルカラ小サイ會社ハ幾ラ働イテモ成績ヲ擧ゲルコトガ出來ナイ、其ノ點ヲ一ツ御伺ヲ致シマス

ト云フコトニナツテ居リマス、今回ノ法律ガ御認メ下サルヤウニナレバソレ等ノ點所謂事業ノ實際ノヤリ方ニ付テノ指圖ガ若シサウ云フ御話ノヤウナ弊害ガアレバ此ノ事業費ヲドノ程度ニ止メルカト云フヤウナ點迄其ノ指導ノ監督ガ出來ルヤウニナル、現在御承知ノ徵兵保險デハ先達テモ申上ゲマシタガ、矢張り集金手数料ト云フヤウナモノヲ餘計出シテ、サウシテ契約ノ獲得ニ努メヨウト云フヤウナコトガアリマシテ、是ガ激シクナリマシテ弊害ガアツクノデス、ソレヲ徵兵保險會社ガ四社デ協定致シマシテ、集金手数料ニ付テハ三分以上ノ手数料ヲヤツテハイケナト云フ協定ヲヤツテ居ル例モゴザイマス、是等ノ方法ハ實際ニモ行ハレテ居リマスガ、今後監督スル上カラハ一番大切ナル點ガラウト考ヘテ居リマス、從ッテ餘リサウ云フコトニ澤山ノ金ヲ使ッテ弊害ヲ生ズルヤウナモノガアレバ具體的ニ擧ゲマシテ、サウシテ所謂指導ノ監督ガ出來ルヤウニナツテ居ルノデアリマス

○委員長(伯爵樺山愛輔君) モウ別ニ御質疑ハゴザイマセヌカ……御質疑ガゴザイマセヌケレバ是デ質疑ヲ打切りタイト思ヒマスガ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵樺山愛輔君) ソレデハ討論

ニ入りマス、何カ御意見ハアリマセヌカ

○山岡萬之助君 私ハ本案ニ賛成スル者デアリマス、聊カ所見ヲ開陳シタイノデアリマス、商法ノ改正ニ伴ヒマシテ保險業法モ修正スル必要ヲ生ジタト云フコトデアリマ

ガ、殊ニ保險業ノ顯著ナル發達ニ對應シマシテ、不當競争ヲ防止スル爲ニ統制協定ノ規定ヲ成シタ點、又監督規定ヲ強化シテ幾多ノ新規定ヲ設ケラレマシテ、殊ニ保險計理人ヲ置イテ保險數理ニ關スル事項ヲ明カニシマシテ、ソレニ依ツテ事業ノ基礎ヲ鞏固ニ致シタト云フ點ハ、本案ノ規定中特ニ指摘スベキコトト思フノデアリマス、斯クノ如ク事業ノ基礎ハ鞏固ニスル方法ヲ設ケラレテ居ルノデアリマスルガ、併シ事業ガ繼續困難デアルトカ、或ハ繼續ノ不適當ナ状態ニ至リマシタ場合ニ於テ、ソレニ先立ツテ先ヅ業者ニ對シテ會社ノ合併トカ管理或ハ契約ノ移轉ヲ勸告スル、斯クシテ會社ノ業務遂行ニ不都合ノ状態ニナラヌ前ニ注意ヲ喚起スル而シテ其ノ困難ナル状態ガ現ニ生ジマシタ場合ニ於テハ管理命令ヲ發シテ、實際ニ於テ具體的ナル監督ヲ實施スル、斯ウ云フ風ナ幾多ノ規定ヲセラレテ、飽ク迄會社ノ賢性質ヲ保持スルヤウニ努メラレマ

シテ、保險契約者ノ利益保護ニ十分ナル力

ヲ致サレルコトニ於テ立案セラレタコトハ誠ニ業界ノ爲ニ適切ナル措置デアルト思フノデアリマス、唯併シナガラ保險會社ト云フモノガ一般ノ商社會社ノ如ク、資本又ハ基金ヲ土臺トスル會社自體ノ利益ヲ中心トスベキモノデナイ、多數ノ保險契約者ノ利益、即チ保險料ヲ集積シタル會社財産ノ關係ニ重點ヲ置キマシテ、所謂公益ヲ眼中ニ置クベキモノデアルト云フコトハ、其ノ性質上當然ノ事デアルト思フノデアリマス、其ノ關係ニ於テ資金ノ運轉ニ留意ヲシ、保險金ノ不拂ノ如キコトガ絶對ニナイヤウニ努ムベキデアルト私ハ深ク感ズルノデアリマス、況ヤ破産ノヤウナ状態ヲ惹キ起スト云フヤウナコトガアツテハナラナイト思ヒマス、斯カル關係ニ付キマシテハ段々質問應

答ニ於テ、政府ヨリ其ノ意思ヲ表白セラレテ居リマスルガ、右ノ如キ關係ニ於テ立案精神ヲ立テマシテ、サウシテ此ノ改正案ヲ具體化サレタト云フコトデアリマシテ、誠ニ何ヨリノ專柄ト思ヒマス、然レドモ規定自體、即チ形式上カラ申シマスルト云フトサウ云フ理念ニ到達シテ居ナイモノガナイトハ言ヘナイノデアリマス、言葉ヲ換ヘテ申セバ右ノヤウナ趣旨ヲ規定スルト致シ

マスレバ、商法ヨリモ餘程離レタ考ヘ方ヲ

シテ規定ヲ設ケナケレバナラナイト思フノデアリマス、然ルニ會社ノ設立トカ或ハ會社解散トカサウ云ツタ關係ニナリマスルト云フト、商社會社ト殆ド同ジ行キ方ニナツテ居ルノデアリマス、唯併シ設立後ニ於ケル業務遂行ノ關係ニ付キマシテハ、右ニ述べマシタ如ク新シイ規定ヲ設ケマシテ、統制監督ヲ強化セラレテ、會社業務ノ内部ニ對シテ十分ナル監督ヲナスコトノ出來ルヤウニナツテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスルカラシテ、形ノ上ニ於テハ多少述べベキモノガアリト致シマシテモ、其ノ精神トスル所ハ誠ニ時代ノ趨勢ニ從ツテ、保險業ノ本質ニ適スルモノアリト信ズルノデアリマス、仍テ此ノ精神ニ從ヒマシテ、運用ニ付テハ何處迄モ政府ノ御説明ニナリマシタル立案ノ本義ニ徹セラレマシテ、今後御進ミニナラムコトヲ希望シテ已マナイノデアリマス、唯併シ徒ニ嚴正ナル監督ノミガ宜イトハ申セマセヌ、所謂寬嚴宜シキヲ得テ、事業ヲ今後助長スルト云フコトノ考ヘ方ノ必要デアアルコトハ今更特ニ申上ゲル迄モナイコトデアリマスケレドモ、保險業ノ關係ハ誠ニ今日迄發達シテ、次第ニ發達シテ來タノデ、未ダ其ノ邊ニ十分ナラ

ザルモノアリト考ヘラレルノデアリマス、殊ニ中小會社ヲ督勵致サレマシテ、之ヲ向上シテ、以テ此ノ會社ノ業務ヲモ、所謂保險ノ本質ニ適合シテ、保險金ノ不拂ノ如キコトガナイヤウニ致サレマシテ、仍ツテ保險契約者ノ利益ヲ完全ニ保護セラレマスコトヲ深ク望ムノデアリマス、之ヲ以テ私ハ本案ニ賛成ヲ致シマス

○男爵矢吹省三君 私モ本案ニ賛成ノ意ヲ表シタイ者デアリマス、曩ニ保險業法改正調査委員會ト云フモノガ出來マシテ、ソレニ御諮問ニナリマシテ、其ノ答申ニ基イテ政府ニ於テハ慎重御研究ノ上本法律案ヲ御提出ニナリマシタノデ、只今山岡博士ヨリ御述ニナツタ通り、誠ニ時宜ニ適シテ居リマシテ、過去ニ於テ爲シ能ハザルモノガ此ノ法律制定ノ上ハ可能デアラウト云フヤウナ期待モ持テル次第デアリマシテ、誠ニ結構ナコトト考ヘマシテ、私モ賛成スル者デゴザイマス、但シ只今山岡博士ヨリ御述ニナリマシタ如ク、運用ノ上ニ付キマシテハ十分考慮スルモノガアラウト考ヘマスノデ、一ニ官民各、其ノ法律ノ期待シテ居ル所ヲ實現スルヤウニ努力スルコトガ必要デアアラウト考ヘマス、先ヅ山岡博士ノ御述ニナリマシタ通り、政府ニ於テモ御監督ヲナサル上

シテ、保險契約者ノ利益保護ニ十分ナル力ヲ致サレルコトニ於テ立案セラレタコトハ誠ニ業界ノ爲ニ適切ナル措置デアルト思フノデアリマス、唯併シナガラ保險會社ト云フモノガ一般ノ商社會社ノ如ク、資本又ハ基金ヲ土臺トスル會社自體ノ利益ヲ中心トスベキモノデナイ、多數ノ保險契約者ノ利益、即チ保險料ヲ集積シタル會社財産ノ關係ニ重點ヲ置キマシテ、所謂公益ヲ眼中ニ置クベキモノデアルト云フコトハ、其ノ性質上當然ノ事デアルト思フノデアリマス、其ノ關係ニ於テ資金ノ運轉ニ留意ヲシ、保險金ノ不拂ノ如キコトガ絶對ニナイヤウニ努ムベキデアルト私ハ深ク感ズルノデアリマス、況ヤ破産ノヤウナ状態ヲ惹キ起スト云フヤウナコトガアツテハナラナイト思ヒマス、斯カル關係ニ付キマシテハ段々質問應答ニ於テ、政府ヨリ其ノ意思ヲ表白セラレテ居リマスルガ、右ノ如キ關係ニ於テ立案精神ヲ立テマシテ、サウシテ此ノ改正案ヲ具體化サレタト云フコトデアリマシテ、誠ニ何ヨリノ專柄ト思ヒマス、然レドモ規定自體、即チ形式上カラ申シマスルト云フトサウ云フ理念ニ到達シテ居ナイモノガナイトハ言ヘナイノデアリマス、言葉ヲ換ヘテ申セバ右ノヤウナ趣旨ヲ規定スルト致シ

ニ於テ時ノ宜シキニ從ヒ、又各般ノ實情ノ表裏ヲ深ク御洞察下サイマシテ、寬嚴宜シキヲ得テ、有效適切ナ御監督ヲナサイマシテ、不正不當ナルモノヲ矯正スルコトハ勿論デアリマスルガ、尙指導育成ノ方面ニ付キマシテモ、深キ御考慮ヲ拂ハレマシテ、業界全般ノ發達ニ付テ十分御考ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、而シテ保險業者ト致シマシテハ勿論此ノ法律ノ規定ヲ能ク遵奉シ、且其ノ趣旨ヲ體シマシテ、深ク自ラ戒ムル所ガナケレバナラヌト思フノデゴザイマス、而シテ政府ノ監督ト相俟チマシテ、今後益々保險業界ノ發達ノ爲ニ協力一致シナケレバナラヌコトト思フノデゴザイマス、此ノ委員會ニ於キマシテモ皆様カラ熱心ニ質疑應答ガアリマシテ、又衆議院ノ速記録ヲ拜見致シマシテモ相當多ク論議サレマシタノハ、現在保險界ニ於キマスル通弊デアリマス不當競争ノ點ニ付テ、非常ニ御熱心ナ論議ガ戰ハサレタノデゴザイマス、此ノ點ニ付テハ保險業者ハ一層相戒メテ其ノ禍根ヲ斷チ、法律ノ期待シテ居ルヤウニ今日迄ノ弊風ヲ除イテ參ラナケレバナラヌモノト思フノデゴザイマス、過去ニ於キマシテモ募集取締規則ト云フモノガ制定サレテアルノデアリマスガ、而シテ之ニ依ッテ此ノ不當

競争ノ弊ヲ除クコトガ出來ルト思フタノデアリマスガ、結果ハ其處ニ參リマセヌ、却ッテソレヲ逆用スル者ナドモ現レマシテ、依然其ノ弊ヲ斷ツコトガ出來ナイノハ實情デゴザイマス、就キマシテハ此ノ度此ノ法律ガ制定サレマシタ曉ハ過去ノヤウナコトガナク、此ノ法律ニゴザイマス第十一條ヲ活用シテ、適切ナ統制協定成立ヲ見マシテ、過去ニ於テハ爲シ能ハザリシ業界ノ廓清ヲ此ノ度ハ實現致シマシテ、之ニ依ッテ業界一般ガ明朗ト相成リ、同時ニ全體トシテ向上發展ヲスルヤウニ致シタイモノト思フノデアリマス、要スルニ法律ハ死物デアリマシテ、之ヲ活用シ、運用スル人ノ自覺ガ一番大切ナンデアリマシテ、此ノ際ハ保險業界ニ於ケル會社ノ大小ヲ問ハズ業者一般ニ一層自覺ヲ致シマシテ、法律ノ期待スルガ如キ業界ノ向上發展ガ實現スルヤウニ努力致サナケレバナラヌコトト、思フノデゴザイマス、私ハ本案ノ成立ニ贊成ノ意ヲ表シマスト共ニ此ノ法律ガ出來マシタ曉、政府ノ期待サレルガ如キ結果ガ招來致シマスコトヲ切望スルノ餘リ、茲ニ一言所感ヲ申述ベタ次第デゴザイマス

ケレバ此ノ保險業法改正法律案ハ滿場一致ヲ以テ茲ニ可決致シマシタ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕
○委員長(伯爵樺山愛輔君) 是デ散會致シマス
午後二時十分散會
出席者左ノ如シ
委員長 伯爵樺山 愛輔君
副委員長 男爵矢吹 省三君
委員 侯爵淺野 長之君
子爵梅小路定行君
男爵伊藤 文吉君
男爵中村 謙一君
山岡萬之助君
大藪 守治君
大和田健三郎君
國務大臣 八田 嘉明君
商工大臣兼拓務大臣
政府委員 商工省保險局長 牧 樞雄君

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 外ニ御意見ハゴザイマセヌカ……御意見ガゴザイマセヌ